

## 令和元年度の振興策の取組結果

### ▷個々の生徒の進路保障

#### □個々の生徒に応じた教育課程の編成

- ・R2年3月各教室にWi-Fi環境完備
- ・R2年3月生徒一人1台のタブレット端末導入(60台)
- ・個別最適化カリキュラムの開発(5月教材コンテンツ:クラッシーを導入)全校生徒活用
- ・5、8、3月、教材コンテンツ(クラッシー、スカイメニュー)の活用に向けての教員研修実施

#### □遠隔教育の充実

- ・4月~本校からの配信授業(2年数学探究2/5名・3年政治経済3/17名)(H29~継続実施)
  - ・6月~教育センターからの配信補習3名(大学進学講座:数学6回、英語7回)
- 受講生徒の進学先:高知県立大学2名(看護科、人文学科)京都先端科学大学1名(健康スポーツ学科)

### ▷部活動の活性化

#### □ソフトボール部(男子14名)

- ・外部指導者を招へいして吾北中学校との合同練習会(R元年5月から実施)
- 講師:片岡大空氏、高橋速水本校教諭(高知パシフィックウエーブ所属・全日本代表)
- 県体戦績(2回戦)対佐川 2-5で惜敗 秋季戦績 対岡豊 0-10で負け

#### □バドミントン部(男子3名、女子3名)

- ・外部指導者を招へいして、いの町の中学校との合同練習会を実施(令和元年5月から実施)
- 講師:松岡孝篤氏(高知大学生、県体ベスト4の実績あり)
- 県体戦績 シングルス男女ともベスト32 ダブルス男女ともベスト32
- 秋季戦績 シングルス女子ベスト16 ダブルス男子ベスト32
- 冬季戦績 ダブルス男子ベスト16

#### □清流太鼓部(男子2名、女子4名)

- ・11月、2020年高知県で開催される全国高等学校総合文化祭りハーサルを実施(須崎市)
- 主な演奏…いの町紙のこいのぼり、氷室祭り、土佐の夏フェス2019、文化祭等

#### □軽音楽部(男子4名、女子6名)

- ・5月生徒総会において部へ昇格。主な演奏…4月グリーンパークほどの軽音楽ライブ、4、6月スクールロックフェスティバル(2回)、12月軽音楽祭

### ▷小中高の交流強化

- ・4月~吾北中学校と吾北分校との実技教科教員の授業の交流を実施(美術、体育)
- ・7月吾北小学校とピザ作り体験交流学习実施(小学6年生5名、生活環境型選択生徒2名)
- ・1月吾北小学校に吾北分校のPR活動
- ・6、10月吾北12名、本川約20名、池川3名の各中学校と田植え、稲刈り
- ・11月、文化祭でパラバドミントン選手(藤原大輔氏)の講演、実技(小中学生・地域130名)

### ▷安心できる生活環境の構築強化

- ・2月、寄宿舎後援会設立総会、規約、備品準備、調理員交渉等

### ▷地域に貢献できる人材の育成

#### □地元産業(土佐和紙)を題材に探究活動の取組みを実施(1年生13名)

- ・5月吾北総合支所産業課長岡岡重雄氏より「楮」について講話(13名)楮見本木植樹
- ・6月紙漉き職人田村寛氏より「和紙」の定義について講話(13名)
- ・8月楮のへグリ体験学習(上八川上東地区)、楮畑の除草作業(13名)
- ・9、1月「折形デザイン研究所」西村優子氏より「折る」をテーマに講話、体験(13名)
- ・12月令和元年度卒業証書和紙すき(講師:田村寛、場所:くらうど)(12名)
- ・1月楮の皮はぎ(場所:くらうど)(12名)

#### □授業の一環として、地域で農産物市場(吾北っ子マルシェ)を開設

- ・5、7、12月に3回開催(道の駅633美の里、分校農場前、平均来場者40名)草花、トウモロコシ、枝豆、ジャガイモ、ハクサイ等販売

## 振興策の成果と課題

### ▷個々の生徒の進路保障

#### □個々の生徒に応じた教育課程の編成

- R元年度中に一人1台のタブレットPCが配付されたので、全体指導と個別指導を両立させた授業を行う環境が整った。
- 教材コンテンツ(クラッシー、スカイメニュー等)の活用に向けて、さらに教員のスキルアップが求められる。

#### □遠隔教育の充実

- 普通科を選択している生徒は、遠隔で追手前本校教員から直接授業を受けることができた。
- 教育センターからの配信補習もあったので、進学への意識付けとなった。
- 次年度の3年生(5名)は進学希望者がいないため、遠隔補習は開講されない。

### ▷部活動の活性化

#### □ソフトボール部

- 外部講師による指導で技術力が向上した。
- 高校県体では相手チームから得点することができたが惜敗した。
- 3年生が引退すると部員が少なくなるので、その確保が必要である。

#### □バドミントン部

- 外部講師を招へいして、いの町の中学校との定期的な合同練習会を実施して、相互交流を深めるとともに、技術力の向上につながった。
- 各種大会のベスト8への壁が高い。

#### □清流太鼓部

- 昨年11月に全国高等学校総合文化祭のリハーサルを終えた。
- 現在部員数は4名で3年生が引退すると3名になるので部員数の確保が必要である。

#### □軽音楽部

- 昨年5月の生徒総会において同好会から部へ昇格した。地域イベントや県の軽音楽祭にも参加し、活動の場を広げることができた。
- 3年生が卒業すると女子3名の部員となるので、その確保が必要である。

### ▷小中高の交流強化

- 昨年度の吾北中学校との交流授業では、実技教科(美術、体育)において専門性を生かした授業を行うことができた。
- 吾北小学校との交流活動が少なかった。次年度はもう少し交流の機会を作る。
- 田植えや稲刈りは生徒同士の交流を深める機会となった。

### ▷安心できる生活環境の構築強化

- R2年2月に寄宿舎後援会を設立し、R2年4月より「吾北寮」としてスタートした。
- 今後は①入寮者を確保する②調理員を確保するなどの対策が必要である。

### ▷地域に貢献できる人材の育成

- R元年度より土佐和紙を題材に本格的にスタートした探究学習では、講師を延べ6回招へいして和紙の原料となる楮の学習を行い、その原料を使用して1年生が3年生の卒業証書を作った。また、和紙を使った「折形」も学び、次年度への商品開発への手がかりとなった。
- 農業実習で栽培された農産物を「道の駅633美の里」等で販売し、地域に根差した農業教育を展開することができた。
- 農産物を学校周辺以外で販売ができないか。

○成果 ●課題

## 令和2年度の取組

高知追手前高等学校吾北分校

### ▷個々の生徒の進路保障

#### □個々の生徒に応じた教育課程の編成

- タブレットを活用した全体指導と個別指導を両立させた授業を全ての教科で積極的に活用する。
- 教材ソフトの実践活用ができるよう、教員が毎週「総探」の授業でスキルアップを行い、各教科で積極的に活用して行く。また、タブレットを活用した公開授業を行う。

#### □遠隔教育の充実

- 普通科生徒(8名)の5名は継続して本校からの数学の配信授業を行う。また、新たに教育センターを拠点に、教育課程に位置付けた英語(8名)の遠隔授業を行う。
- 遠隔補習の対象者を2年生にして、教育センターから配信される公務員補習、進学補習を受講する。1学期:公務員補習9回、進学補習2回

### ▷部活動の活性化

#### □ソフトボール部(R2部員数:8名)

- 外部指導者を招へいして、さらに技術力のアップを図る。
- 県大会でまず1勝するために、追手前高校本校や他校との練習試合を行い、実践力を身につける。R2年度県体戦績 3-11で高知工に敗退
- 吾北中学校のソフトボール部と合同練習会を行い、入学者を呼び込む。

#### □バドミントン部(男子4名、女子4名)

- 外部指導者を招へいして、いの町の中学校との合同練習会を実施し、さらに技術力をアップさせる。
- 平成30年度より合同練習会を実施してきたことで、吾北分校に有望生徒が入学してきた。在校生とのダブルスでベスト8を目指す。

#### □清流太鼓部(男子2名、女子2名)

- 全国高等学校総合文化祭はWeb開催となったが、発表の機会をいただいたので吾北分校をアピールする。また、今後コロナ感染症が落ち着き、地域イベントが開催されるようになれば感染症対策を取りながら参加する。
- 吾北中学校太鼓部と合同演奏会を開く機会を作り、中学生を吾北分校に呼び込む(8月、嶺北地区で合同演奏会を予定)

#### □軽音楽部(男子3名、女子3名)

- 8月、コロナ感染症対策を取りながら無観客での演奏会に参加する。
- 年度当初の部活動紹介で部員の確保に努める

### ▷小中高の交流強化

- 吾北中学校と吾北分校との教員の交流授業(体育、美術)は継続しつつ、新たに英語の交流授業も行う。
- 吾北地域の小・中・高との合同大運動祭を吾北小学校で開催する。(9月)
- 地域の中学校との田植え、稲刈りの交流体験学習は継続する。

### ▷安心できる生活環境の構築強化

- 県内遠方の中学校に寄宿舎の説明に行く。(訪問中学校:須崎、大川、魚梁瀬)生徒数確保のため近隣(高知市内も含む)の中学校も訪問する。
- 調理員の確保については地元の「食改グループ」と「グリンココ」に依頼する。

### ▷地域に貢献できる人材の育成

- 引き続き地元産業(土佐和紙)を題材に探究活動の取組みを実施する。
- 新たに2年生は外部講師(折形デザイン研究所:西村優子氏)を招へいして、和紙を原料とした商品開発をする。
- 引き続き農産物市場を開催するとともに、新たに嶺北高校と合同で販売会を行う。
- 農産物の出張販売を行う。(下八川、清水、本川地区を予定) (10or11月)